

●しゃらくかい
写真俳句会

令和2年2月29日 50

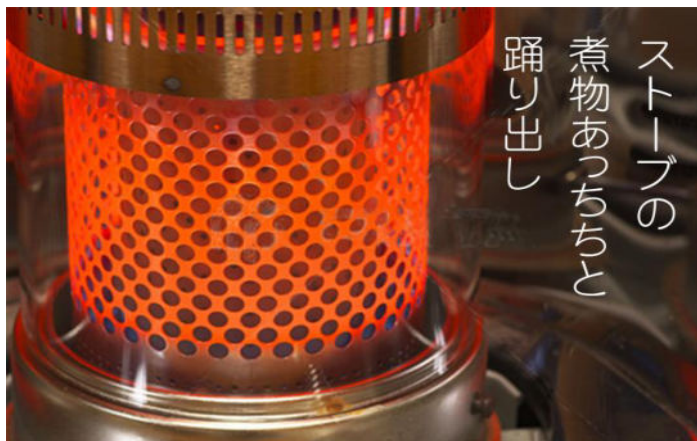
<http://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>

投稿/投票宛先; kinuko_thompson@hotmail.com

© 2020 Sharakukai

如月兼題「暖房」 出題：千泉

写真俳句



1 ストーブの煮物あつちちと踊り出し

今は煮物が出来るストーブも少なくなってきましたね。



2 温き冬暖房抜けて猫遊ぶ

この猫の大群は世田谷豪徳寺の招き猫です。



3 ストーヴに炭くべる師のほほ赤く

ダルマストーヴ は教室の隅までは暖かくない。
火のそばの先生が羨ましかったものです。（借画）



スマホ持ち睡魔に負けし暖房車

4 スマホ持ち睡魔に負けし暖房車

電車で座ってスマホ、多いですね、でもお尻辺りが暖かいといつの間にかウトウトと。



数知れぬ人の悲喜見し暖炉かな

5 数知れぬ人の悲喜見し暖炉かな

40～50年前のイギリス人の家は皆こんな感じでした。今は博物館になっています。



寒風に落ち葉のたき火心サム

6 寒風に落ち葉のたき火心サム



こたつの上 みかんの皮と新聞と

7 こたつの上みかんの皮と新聞と

一度こたつに入ると、すべて座ったままで済ましてしまいます。



8 暖冬に当ての外れた薪の嵩

雪はちらつく程度のこの冬でした。用意した薪の出番の少ない、静かな火の暖炉だったのでしょうか。

俳句

1 炬燵から現る足袋のぬくきかな

寝起きに炬燵にもぐりこむ。そこには母の温もりが・・・。

2 湯湯婆（ゆたんぼ）や足でまさぐる夜明け時

夜中に蹴ってしまった湯湯婆を足で探す。

3 足延ばし足で挟みし行火（あんか）かな

昔は炭火の行火でしたが今は電気行火しか無いですね。

4 手袋に今日も元気で声かける

5 窓際の陽だまりぬくし椅子寄せる

ガラス越しに背中に陽を受けるのが好きです。

6 寒の水すんと喉を落ちにけり

暖房の効いた部屋で喉が渇き、寒の水を味わう余裕もなく飲む。

7 するめ焼く ストーブ列車の津軽弁

地吹雪の中を走る津軽鉄道の車内では、するめを焼くにおいが漂っていました。



庭で暖をとる「ちむにあ」

撮影：千泉

短歌

準坊

日溜まりの
ベンチ先客猫見上ぐ
遠慮がちに
吾れ端に座す

猫は一瞥ただけで逃げもせず又目を閉じました。



最近社交ダンスを習い始めました。その練習風景三題です。

頭上げ背筋伸ばして深呼吸 大きく踏み出しつまづくワルツ

間違えず踊る思いを胸に秘め しかめっ面してタンゴを踊る

軽快なルンバのリズムにステップを 見る人曰く麦踏みダンスか

北切雀

氷なる手袋嫌う孫の手をさすり温（ぬく）めるブランコの後 北切雀
ブランコに乗ったら20分は降りない孫です。

深々と積もりし雪に力こめ沈める炭の黒さかな 北切雀

一月号には歌留多、双六、竹馬、凧、独楽、羽根つきと懐かしい遊びが。大好きだった雪釣りを思い出しました。

川柳

会見の身振り手振りはコンダクター 準坊

国外逃亡犯の訳の分からぬ記者会見

春節の旅の土産に先ずマスク 準坊

マスクが欠かせない世の中になってきましたね。

写真投稿

iSAMU 2点



代々木上原の
東京ジャーミー



豪徳寺招き猫

令和2年1月「冬の遊び」（出題者：久芽）の作品と投票結果

<< >>は作者コメント、* は読者コメントです。

* 今月号は選ぶのに苦労しました。全体として、日本から消えてしまいそうな遊びについて、懐かしさと寂しさを感じました（HSさん）。

写真俳句 投票数：32

一席 覚えて カルタ取られて泣く子かな 昼寝覚（8 票）



- * 小さい子にはハンデが欲しいですね。
- * 「ひさかたの～」これを取られたら、この世の終わりでした。
- * え～、真剣勝負なんですね、お正月はみんなで楽しく子供には花を持たせてあげるものと思ってました（笑）。
- * どんなに楽しい遊びも勝ち負けが入ると悔しさ、悲しさを伴う。人の心理が見えてくる句です。
- * 私も負けると泣く子でした。懐かしい。
- * 子供は遊びにも真剣勝負ですよ。

佳作（令和2年1月号掲載順）



冬日和遊び相手の残り糸 北切雀

< 残り毛糸でお茶帽子を編みました。 >

- * お茶帽子って言うんですか、とても可愛らしいですね。
- * 趣味の手芸を遊びに転化する心の持ちようが素敵です。俳句そのものが「遊び」と言われていますが、日常の行為も「遊び」に繋がっていて素晴らしい。
- * 編み物をしていると、楽しくなって夢中になりますよね。
- * 素敵なポットカバーですね。私は不器用なまま歳をとってしまいました。昔はレース編みなどした事もあったのですが・・・羨ましいです。
- * 写真も可愛いし、俳句も温かい感じで共感できますね！



雪つぶてうなじに受けて子の逃げる 久芽

< 雪遊び不覚にも後ろからやられました。写真はよその子です。 >

- * 可愛い！楽しそう！少しなびいたマフラー、手足の表情、子供の動きとエネルギーをよく捉えた写真と句。
- * えり首に入った雪の冷たさの体験を思い出しました。



雪止んで静寂一変子らの声 千泉

< 音もなく降る雪がやむと、近所の子供達が大声で遊び始めた様子を詠みました。>

- * 子供の頃は雪遊びが待ちきれなかったですね。
- * 大得意のドヤ顔、可愛い！雪だるまの表情もいいですね。
- * 雪の朝の子供の嬉しい様が伝わります。面白い画像です。
- * 一茶の句「雪とけて村いっぱいの子供かな」を思い出しました。
- * さすが子供はスゴイ、寒さもなんのそのですぐに遊びを見つける天才ですね。
- * 静寂一変がいいですね。 こんな大きなゆきだるまをつくれるほどいっぱい降ったんですね。



歌留多とり手の触れ合いてときめいて 準坊

< 百人一首はよく暗記しましたね。>

- * 青畳にときめいてしまった。変態か。
- * 加留多会は昔は男女の社交行事であったのは確かです。
- * 百人一首は恋の歌のオンパレードだから、こういう俳句はぴったり。



竹馬や一尺おとなになりける 池福楼

< 垣根越しに隣家の様子がのぞき見える。ちょっとドキドキしたものです。>

- * 竹馬に乗れるようになると、高いところまで見えるので大人になった感じ想像できますね。
- * ずいぶん練習したのに、乗れなかったのを思い出しました。
- * 昔竹馬に乗ると、周りの景色が変わったようにみえたものです。
- * 「一尺」というのがなんといい。独特の味がある絵ですが、どう描いたのでしょうか？

作者注：クレヨン画に画像修正ソフトにてゆるくしました。



厚着してそこまで遊ぶ冬ゴルフ iSAMU

< 寄居CC、山並みは比企丘陵。>

- * ゴルフ狂はゴルフ教。寒さぐらいなんのその。
- * 川柳のような風刺が効いている・・・。

有馬記念今年最後の運ためし 梵木

- * 明ければ「今年初の運ためし」でしょうか？当たるといいですね。
- * ギャンブルも遊びで終われば良いけれど・・・。
- * 季語はどれか教えてください。

編集注：「有馬記念」が季語で「冬」です。





「雪遊び」撮影：久芽

* 生き生きと元気で可愛い子供を撮らせたら、右に出る人がいないのが久芽さん。

一席 初春や風引きずりて子は走る 池福楼（8 票）

< 風、風揚げは春の季語だそうで、主季語を入れました。>

- * 情景が浮かんできますね。ほっこりします。
- * 二つの季語に強弱をつけるテクですね。勉強になります。
- * 小さい子供さんが一生懸命走って風を引きずっている、素直な句だと思います。
- * よく見かける小さい子供の風あげ風景ですね。
- * 始めは引きずりながら、だんだんとコツをつかんでいくのですね。
- * あがれ あがれと走っている 幼い子が 思い浮かびます。

佳作（令和2年1月号掲載順）

双六の上がりを目指し目尻上げ 千泉

< げらげら笑っていた子供達の目が終盤になると真剣になるのが好きです。>

- * 双六は上がりず、目じりだけが上がる。人から見れば楽しいひととき。
- * 素朴なゲームっていいですね。やっているうちに夢中になる楽しさたまりません。
- * 今や廃れた遊びではあるが懐かしい。サイコロを振る子も見守る子も真剣な表情がよく描写されている。
- * 終盤にさしかかり、皆が白熱している様子が目に浮かびます。

風糸のあまりに延びて風乱舞 久芽

< 風上げなかなか上手く上げられません 一生懸命走るのですが糸だけ延びてしまいます。>

- * なぜ自分だけ上げられないのか、悲しくなりました。

風揚げも羽根つき 映画のワンシーン 昼寝覚

< 最近では風揚げ、羽根つきも映画の中でしか見られなくなりました。>

- * 子供が外で遊ぶ姿自体が見られなくなりましたね。

靴下を重ねて庭へ雪遊び 北切雀

- * 靴下を重ね履きしても靴の中には雪が・・・。
- * 足や手は冷たいけれど遊びたい子供の気持ちがよく出ています。

独楽を見てこれは何ぞとたずねる子 梵木

- * これも時代ですか。
- * 今や知らない子がほとんどかもしれませんね。やってみれば面白くて楽しいのに残念至極です。
- * 独楽やベーゴマで昔の子供の闘争心は磨かれたものです。今やひとりゲームでの闘いか。

羽子板の窪みの跡を指なぞり 準坊

< 桐の羽子板には羽根つきの跡が幾つも付きましたね。 >

- * 黒のムクロジにピンクに濃淡の羽を、とてもきれいだと言ったものでした。ムクロジはもうプラスチックでしょうね。
- * 羽子板の窪み思い出しました。
- * 負けて顔に墨を塗られました。
- * 実体験 あっての一句ですね 懐かしいです。

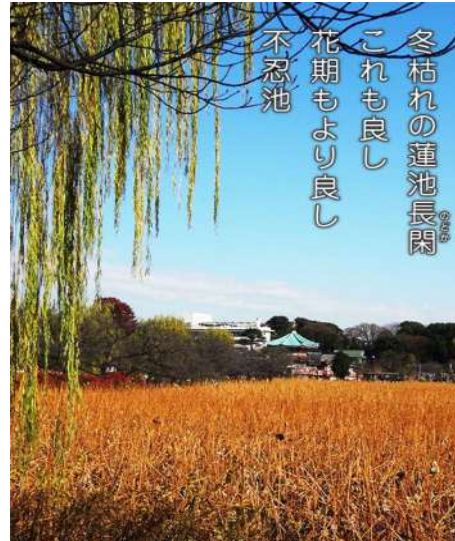
短歌

冬枯れの蓮池長閑 (のどか)
これも良し
花期もより良し
不忍池

準坊

< 不忍池を詠みました。
母が池之端に住んでいた為に良く散策しました。 >

- * 上野界隈の情緒はいいですね。正岡子規も俳句や短歌を多く残しています。
「不忍も上野も小春日和哉」
- * 亡き母が子供だった頃 早朝に蓮の花が開く時、
ポンという音がするのを聞いた、と言ってたのを 思い出しました。



孫守を終えて一息ふと見ればハンドバッグに雪だるまシール 北切雀

< ご多聞に漏れず孫はシールが大好き。手の届く所ならどこでもペタペタ。 >

- * お孫さんの可愛いいたずらに鷹揚に見守る作者の心の広さがいいですね。

- * 令和2年弥生3月は読者HSさんから「芽」、卯月4月は準坊さんから「菜の花・花菜」と出ています。
- * 令和2年如月2月号の作品の写俳、俳句の中で「いいね」と思われた2作品の番号を投票して下さい。
- * 句とは別に、写真として特にいいと思われる写俳作品がありましたら「写真いいね!」として投票下さい。
- * 投票しなかった作品へのコメントも遠慮なくお寄せ下さい。短歌、川柳も大歓迎です。
- * 令和2年2月への投票、3月号作品への投稿の締め切りはともに3月20日です。
- * 随想、珍事報告など書き込みの他、読者さんからの写真や句の投稿、兼題提案もお待ちしております。

「写楽句会」(五十音順)

池福楼、iSAMU、一枝、北切雀、準坊、隅っ孤、沈丁花、千泉、久芽、昼寝覚、梵木

筆責：北切雀

校正：準坊、池福楼

写楽句会 連絡先：kinuko_thompson@hotmail.com

© 2020 Sharakukai

<http://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>
四季の森空間 <http://isamusouma.web.fc2.com/>

または